

キー坊の環境講座

第3回 分ければ資源、混ぜればゴミ！



今回のテーマはごみ問題。前々回の環境講座（市民だより10月1日号）で、刈谷市で捨てられるごみのほとんどが可燃ごみだということが分かりました。

現在、刈谷市では8種類の収集区分がありますが、皆さんしっかり分別していますか？また、資源回収や拠点回収などで、新聞紙や雑誌といった紙類の回収も行っています。地域の資源回収への参加やごみの正しい分別が、環境を守ることにつながるのです。今回は、刈谷市のごみの現状について学んでいきましょう。

1年で捨てられる
ごみのうち約9割
が可燃ごみなの
です！



可燃ごみ 87%

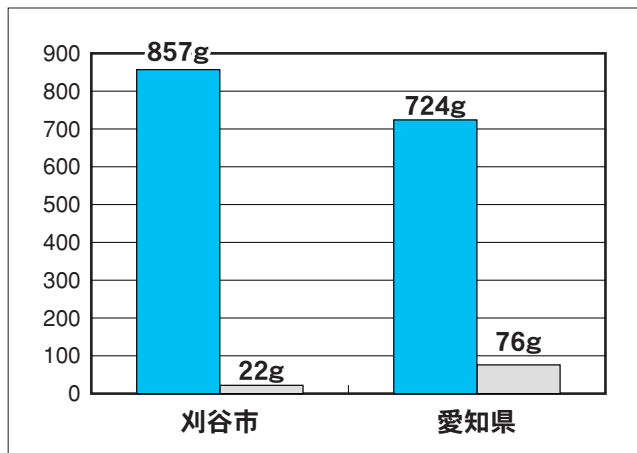
燃やさない
その他

【平成18年度実績】



下のグラフが何を示しているが分かるかな？

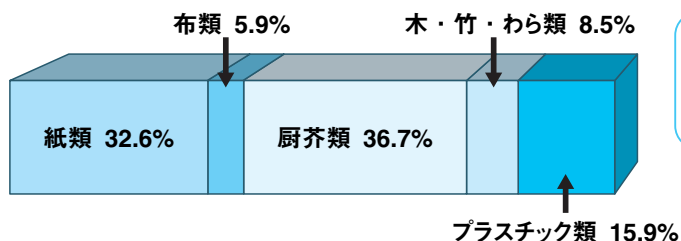
何だろう？



【平成18年度実績】

左のグラフは、刈谷市と愛知県で1人が1日に捨てる可燃ごみと不燃ごみの量を比較したものです。それぞれ左が可燃ごみ、右が不燃ごみの量です。不燃ごみに比べて可燃ごみが圧倒的に多いのが現状です。また、愛知県の平均と比べてみても、可燃ごみは、県の平均を大きく上回っている事が分かります！

次に、可燃ごみの内訳を下に示します。すると、紙類、厨芥類（主に、生ごみ）、プラスチック類で大半を占めていることが分かります。紙類、プラスチック類のうち、ほとんどは資源ごみとして再利用できる資源です。それが燃やされているのが現状です。



可燃ごみで出されると、まだまだ利用できる資源が燃やされてしまうんだね！



今回のごみ問題のページで、可燃ごみとして捨てられるごみの中に資源が含まれていることが分かりました。正しい分別を心がける事が、限りある資源を有効に使い、また地球環境を守る事につながります。

次回からのごみ問題のページでは、生ごみ、紙類、プラスチック類、布類のごみを減らすために私たちにできることを紹介していく予定です。



※詳細は環境課（☎62-1017）へ。